

学士会、
ホームカミングデイ
に出店

第 25 回
関西茶話会講演録

NU7

National University Seven

国立七大学の総合情報誌

2017.01 No.9

ノーベル賞受賞者、
夕食会・午餐会に
登壇！

七大学・同窓会・会員活動情報
学士会・学士会館ニュース

学 士 会

9月夕食会
大村 智
氏

2015年
ノーベル生理学・
医学賞受賞



**学士会「夕食会・午餐会」に、
2015年のノーベル賞受賞者日本人2名が登壇！！**

2016年9月9日（金）の夕食会では、大村智氏（北里大学特別榮譽教授）が、「微生物創薬と国際貢献」と題した講演を、続く11月21日（月）の午餐会では、梶田隆章氏（東京大学宇宙線研究所長）が、「KAGRAプロジェクトと重力波天文学」と題した講演を行い、どちらの会も定員250名を超える参加があり、とても盛会な饗宴の場となりました。

大村氏の「9月夕食会」の講演録は、1月1日発行の『學士會會報』922号に、梶田氏の「11月午餐会」の講演録は、5月1日発行の『學士會會報』924号にそれぞれ掲載予定です。

11月午餐会
梶田隆章
氏

2015年
ノーベル物理学賞
受賞



学生会、

ホームカミングデイに出店

完売
御礼!

来年も
お待ちしております
おります!

第15回 東京大学ホームカミングデイ

東京大学 本郷キャンパス



生ビールと
焼き鳥を販売!



2016年
10月15日
(土)

東北大学 109周年 ホームカミングデー

東北大学 川内キャンパス



2016年
10月29日
(土)

学生会館
オリジナル
スウィーツ
を販売!



第11回 京都大学 ホームカミングデイ

京都大学 吉田キャンパス



2016年
11月5日
(土)

学生会館
オリジナル
スウィーツ
を販売!



NU7

National University Seven

国立七大学の総合情報誌

2017.01 NO.9

7 NEWS

ノーベル賞受賞者2名が、 夕食会・午餐会に登壇！

学会、 ホームカミングデイに出店

01

7 LECTURE 第25回 関西茶話会

伝統的町家に学ぶ住まいの知恵と技

矢ヶ崎善太郎（京都工芸繊維大学准教授）

03

7 UNIV.

七大学情報

七大学書籍ランキング 40

11

7 ALUMNI

同窓会案内・開催報告

22

7 MEMBERS

会員通信

会員著作物紹介・会員活動報告
『NU7』原稿募集のご案内

28

7 NEWS

学会・学会館より

34

7 STAFFs

編集委員コラム

42

JOIN US!

学会の紹介

表 4



表紙写真…北海道大学写真部 2年 登坂直紀

開催日 2016年6月11日(土)

会場 京都大学楽友会館

「伝統的町家に学ぶ 住まいの知恵と技」

やがさき ぜんたるう
矢ヶ崎 善太郎

京都工芸繊維大学准教授



● PROFILE ●

1985年京都工芸繊維大学大学院工芸学研究科建築学専攻修了。京都工芸繊維大学工芸学部建築学科助手等を経て、現在、京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科デザイン・建築学系准教授。学術博士。専門は、日本建築史、日本庭園史、伝統建築学。

著書に『LE SANCTUAIRE D'ISE RÉCIT DE LA 62^e RECONSTRUCTION (伊勢神宮 第62回式年遷宮の造営工事)』(MARDAGA (マルダガ出版社)、2015年、共著)『茶と室内デザイン』(思文閣出版、2015年、共著)など多数。

町家とは

日本の伝統的な住宅は大きく二つに大別されます。寝殿造や書院造などの貴族や武士の住宅と、民家と呼ばれる庶民の住宅です。民家は生業によって呼称が異なり、農業を営む人の住宅は農家、商業や手工業を営む都市民の住宅は町家です。

町家に共通するのは、①表通りに面している、②表通りに面した部屋を店舗や仕事場になっている、③高密度に住むことに対する様々な工夫が

なされている、などの特徴です。

町家は間口が狭くて奥が長いので、よく鰻の寝床と言われます。間口の長さで税額が決められたからと説明されますが、高密度に集住しながらも、商売のために少しでも表通りに面したいという必要条件から生まれた住まいの形態と言えます。

史料に見る町家

平安時代、道路が碁盤の目に走る京都では、貴族は道路で囲われた1区画全てを占有して屋敷を構えていました。一方、庶民は道路に面して、長屋ではなく、独立した小屋を密集させて住んでいました。図1を見ると、出入口に暖簾のようなものが下がっています。京都の庶民は当時から内と外を完全に分離するのでは

なく、常に表通りの気配を感じながら暮らしていたようです。

中世になると、例えば越後の上杉家に贈られた「洛中洛外図屏風」(図2)では、庶民が道路に面して小屋を建てて商売しています。

図3は明治時代の祇園祭の様子です。京都ではつい最近まで町家が整然と並んでいたのです。



図1 「年中行事絵巻」 12世紀後半



図2



源行平右衛門 (1873年頃、京都祇園祭) 上巻第4巻 - 京都府立総合資料館蔵
The view to the east from Hanafushimi Matsubara. The Taiki Yatai float is paraded along Matsubara Street (around 1870) courtesy of the Kyoto City Cultural Property Preservation Bureau

図3

町家の街並み

平安時代以来、京都は何度も戦や火事に遭い、その度に復興してきました。その過程で町家の改良が進み、道路を挟んだお向かい同士に共同体意識が生まれました。こうして地域コミュニティが両側町という形で成熟すると、密集して住むためのルールが成立し、町家の外観や町並みが整っていきました。

技術的な理由もあります。町家に使われる木材の多くは北山で伐採され、筏を組んで保津川を下り、嵐山で陸揚げされ、都に運ばれました。この際、運びやすくするため、長さ

を1丈4~5尺(約4.2~4.5m)に揃えましたⁱ。このため、町家はほぼ同じ高さになったのです。

といっても、全く同じ町家が並んでいたのではなく、高さや意匠に微妙な違いがあります。ただし、この違いが一定範囲内なので、統一感が生まれます。平入り屋根であることも統一感を生んでいますⁱⁱ。

-
- i この材木を昔の大工は丈四材と呼んだ。
 - ii 図1~2に見られるように、平安時代から京都の庶民の家は平入り(道路に屋根を見せるタイプ)である。

町家の構造~トオリニワの重要性

標準的な規模である間口3間の町家では、正面から奥の空地まで、幅約1間のトオリニワという土間が通っています(図4)。通常、庭という観賞や回遊を楽しむための場所ですが、私たちは「下足で移動する所は全て庭である」と定義しました。そうすると、敷地のうちの半分くらいが「庭」になります。町家での生活が「庭」と共存し、有効利用することの大切がうかがえます。

町家は長屋ではなく、独立した住宅です。しかし、隣家との間にほぼ隙間なく密集しているため、このトオリニワが個々の家にとっても町全

体にとっても、表通りと奥の空地を結ぶ重要な通路でした。

このトオリニワに沿って床上の部屋が並んでいます。標準的な町家だと、表通りから奥に向かって、ミセ、ダイドコ、オクノマの順です。ミセは商いや商談、職人なら仕事の場、ダイドコは家族団らんや食事の場、オクノマは寝室や接客の場です。多くの場合、便所や風呂場はオクノマのさらに奥に設置され、敷地の最奥部には土蔵が置かれています。

トオリニワのうち、表通りに面した部分をミセニワと言い、ここまでは商談相手などは入れます。ミセニ

ワの奥は中戸で仕切られ、その奥のハシリニワ以降がプライベートな空間であることを示していますⁱⁱⁱ。ハシリニワは炊事場で、流しや井戸や竈があります。(図5)。

このようにトオリニワは多くの機能を果たしているのです。常に明るさが必要です。そこで天井を張らず、屋根まで吹き抜けにし、屋根の天窗や壁の高窓から採光しています。煮炊きの際に出る熱気や煙もこの窓から逃しています。この吹き抜けは火や煙を閉じ込めるので、火袋とも言われます。

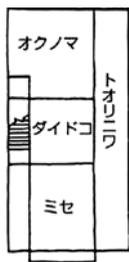


図4

この吹き抜けを見上げると、木材が縦横に

行き交っています(図6)。これを京の大工^{じゆんとうざんべき}は準棟纂^{じゆんとうざんべき}と呼びます。町家は簡素な建物ですが、ここだけは大工が腕前を披露する絶好の場でした。

そもそも、町家は両隣が塞がれた窮屈な敷地のため、建設の際に大工の作業場として最後まで土間が必要でした。トオリニワとはそのように必然的に生まれた場所でした。

なお、町家は、奥行き方向の壁は堅牢ですが、横方向は開口部が多く、脆弱です。しかし、密集しているお蔭で地震の時は町家同士でぶつかり合い、持ち堪えることができます。

iii 大きな町家には、ゲンカンニワ、ツポニワもある。



図5



図6

町家で暮らす工夫

町家にはトオリニワ以外にも様々なニワがあり、通風、換気、採光の工夫をしています。ニワに植栽や灯籠を飾って生活を彩っています。樋によってニワに雨水を集め、排水する工夫もしています(図7^{iv})。

夏にニワに打ち水をすると、見た目が涼しいだけでなく、気化熱で温度が下がって上昇気流が起きるので、簀戸^{すど}を建てて簾を垂らせば室内に風が通ります。古来、夏を旨として作られてきた町家ならではの知恵とい

えます(図8)。

冬には簀戸をガラス障子に替えます。吹き抜けの階段を押し入れに収納し(箱階段)、階段の1階と2階の間にある開閉式の薄板を閉じ、寒さに備えます(図9)。



図7



図9



図8

- iv 写真は吉田家。通風や換気、採光などのために工夫された中庭。手水鉢や石灯籠を据えて座敷からの景にうるおいを与えている。

町家の意匠

町家は平屋と二階建に大別できます。近代になると三階建の町家もあります（図10）。二階建のうち、明治後期には総二階とって、2階の天井が1階と同様、十分な高さをもって建てられるようになりましたが、それまでは2階の天井が低い厨子二階でした。2階は物置や使用人の寝所に使用されました。

厨子二階は江戸継承型と言えます。京都は何度も火事に遭い、特に、幕末の大火（どんでん焼け）で中心部の町家はほぼ全焼しました。今残る厨子二階は、大火後、焼失前と同じ技術と意匠で応急処置的に再建されたものなので、江戸時代の雰囲気を残していると思われま

す。町家の正面の開口部には千本格子が建てられています。町家が商家だった頃、昼間はこの格子を外してミセノマを表通りに開放し、揚げ見世と呼ばれる縁台を下して商品を並べていました。しかし、町家が純粋な

住宅になると、ここに腰掛けて夕涼みするようになり、バツリ床几と呼ばれるようになりました。

千本格子には、米屋格子、炭屋格子、糸屋格子など職業の名が冠せられています（図11）。格子の意匠がそれぞれの商売の特質に合わせて工夫されてきたことを示唆します。

犬矢来（雨水の跳ね返り防止）や駒寄せ（牛馬を繋ぎとめておく柵）も、形態や意匠は様々です。

井原西鶴の『浮世栄花一代男』の中に、「京の立家 かるうして」という言葉が出てきます。これは芭蕉の俳諧理念を表す「かるみ」に通じる言葉で、「庶民性、通俗性を高揚深化し、軽快、瀟洒、直截、平淡、卑近などを芸術化すること」を指します。「京の町家はかるい」とは、正に「特別な材料は使っていないのに、できあがった空間は非常に崇高だ」ということでしょう。





厨子2階型 江戸継承型



総2階型 同左。ただし2階軒高の高いものは明治後期以降



平屋型 軒数は少ない



3階型 軒数は少ない



仕舞屋型 住まい専用型。まちなかに点在。軒数は少ない



大塀造型 同じくまちなかに点在。軒数は少ない

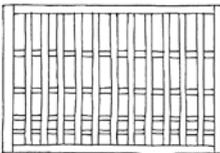
町家の類型（「京町家再生プラン」(京都市)より）

図 10

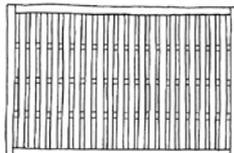
主屋根は互い違いに高低があるが、下層の軒端の線はほぼ水平に揃う。職種、つくり手の共通性と協調的なルールが町並みに秩序をあたえる



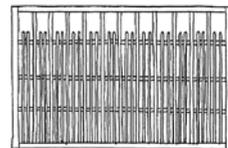
虫籠窓のかたち 矩形(左)を標準とするが、木瓜形(右)も稀にある



米屋格子
太い部材でがっちりした荒格子



炭屋格子
安全のために整子のあきが小さい



糸屋格子
一般的に見られる格子(京格子)。形状は1本通シ2本切子の切子格子

図 11

町家の未来

町家は、車が収納できないなど、今の生活にそぐわない点が多々あるため、次々取り壊され、普通の民家やマンションになっています。町家は密集して初めて機能を発揮するので、周りにマンションが建つと風が動かなくなります。図 12 は、1935 年頃と 2008 年、同じ所から比叡山方向を撮った写真です。前者では、ほぼ同じ高さの町家が建ち並んでいるため、町全体で風が動いていました。

現在、町家ブームで、多くの町家が店やレストランなどに改造されています。町家が見直され、使い続けられるのはいいことです。しかし、町家の文化を継承するには、現代の一般的な構造とは異なる町家独特の構造をよく理解したうえで手を加えなければなりません。町家を建てた大工たちに敬意を払い、彼らの意図を理解して改造することが重要かと思えます。



1935 年頃の京都



深草山から比叡山を眺める (2008 年)
The view of Mount Hiei from Shiba Karasuma (around 2008)

図 12



七大学共通

告知

◎大学入試センター試験が行われます

2017年度大学入試センター試験は2017年1月14日(土)、15日(日)に、追・再試験は2017年1月21日(土)、22日(日)に実施されます。

当日は、試験会場となる大学構内には受験生以外立ち入れませんのでご注意ください。

報告

◎第12回九州大学・北海道大学合同活動報告会「九大・北大から世界へ大学発ベンチャーの挑戦」が開催されました

2016年11月5日(土)、都市センターホテル3Fコスモスホールにおいて、第12回九州大学・北海道大学合同活動報告会「九大・北大から世界へ大学発ベンチャーの挑戦」が開催されました。

久保千春九州大学総長、山口佳三北海道大学総長挨拶の後、

1. 九州大学学術研究・産学官連携本部ベンチャー創出推進グループグループリーダー山内恒氏による「九州大学の大学発ベンチャー創出へ向けた取り組み」
2. 九州大学工学研究院主幹教授、株式会社Kyulux技術アドバイザー安達千波矢氏による「基礎研究に根ざした革新的な有機EL用発光材料の創製から九大発ベンチャーへの展開」
3. 北海道大学産学・地域協働推進機構

副機構長(特任教授)牧内勝哉氏による「大学経営と大学発ベンチャー」

4. 北海道大学大学院歯学研究科教授吉田靖弘氏による「北大歯発ベンチャーの設立と医療イノベーションへの展開」の発表がありました。

休憩をはさんで、「大学発ベンチャーの成長に向けて」をテーマに、九州大学学術研究・産学官連携本部ベンチャー創出推進グループ准教授熊野正樹氏をコーディネーターに、発表者4氏に、QBキャピタル合同会社代表パートナー坂本剛氏、ライラックファーマ株式会社代表取締役、北海道大学産学・地域協働推進機構アドバイザー須佐太樹氏を加えた7氏にて、パネルディスカッションが開催されました。

今回の報告会では、両大学におけるベンチャー創出推進のための取組みを紹介するとともに、大学発ベンチャーの実情と今後の展望について、起業に成功した教員から社会に向けて、積極的な情報発信の場となっていました。

また、活動報告会と併せて、会場後方でパネル展示も行われていました。



北海道大学

報 告

◎殻を振り回して敵をノックアウトするカタツムリを発見

http://www.hokudai.ac.jp/news/161114_farm_pr.pdf

北海道大学・東北大学及びロシア科学アカデミーの研究グループは、殻を武器として振り回すことにより、敵を撃退するカタツムリを発見しました。

これまでカタツムリは、敵の攻撃に対して殻の中に身を潜めて引きこもることによって身を守る、「引きこもり防御戦略」をとる生物の代表とされてきました。

ところがこの種は、天敵であるオサムシに襲われると、大きな殻を振り回し、打撃を与えることによって敵を追い払います。

「攻撃的防御戦略」をとるカタツムリと「引きこもり防御戦略」をとるカタツムリは、殻の形はそれぞれの防御方法に適したものになっており、両者で大きく異なるそうです。

また、この攻撃的防御をする種と、引きこもり防御をする種の分化は、北海道と極東ロシアで独立に並行的に生じたこともわかりました。

以上の結果は、敵に対する防御として、攻撃的防御と引きこもり防御という二者択一的な戦略があることが、行動や形の多様化、さらには種の多様化の大きな要因であることを示し、ダーウィン以来150年以上も問われている進化生態学における重要課題を解明するヒントとなるそうです。

東 北 大 学

報 告 知

◎第9回社会イノベーター人材育成塾「二枚目の名刺」が開催されます

<http://www.tohoku.ac.jp/japanese/2016/11/event20161125-01.html>

「二枚目の名刺」とは、本業で持つ1枚目の名刺の他に、社会を作ることに取り組む個人の名刺です。今多くの社会人が、二枚目の名刺を持って専門分野以外へのチャレンジや、自分自身の価値観を表現することで会社という枠を一步踏み出し始めています。

今回の社会イノベーター人材育成塾では、二枚目の名刺の今までと、これから当たり前前の選択肢となる未来をどう創るのか、代表の廣優樹氏にご講演いただきます。

この講演が社会人や学生にとって、本業以外の場で社会を創るための第一歩と

なることを期待しています。

日 時 2017年1月11日(水)
15:00~17:00

会 場 東北大学川内南キャンパス経済学部第3講義室

講 師 特定非営利活動法人二枚目の名刺代表 廣優樹氏

お問い合わせ

東北大学大学院経済学研究科
地域イノベーション研究センター
sympo2016@econ.tohoku.ac.jp

◎東北大学復興アクション100+ 東北大学大学院教育学研究科主催 シンポジウムが開催されます

<http://www.tohoku.ac.jp/japanese/2016/11/event20161109-05.html>

「サイコロジカル・エイド震災から5年を経過して」と題したシンポジウム・

ディスカッションが開催されます。

日 時 2017年1月28日(土)

12:30開場

会 場 東北大学大学院教育学研究科文科系総合研究棟206教室

参加費 無料

〈シンポジウム〉

[司 会] 東北大学大学院教育学研究科
若島孔文氏

[講師①] 宮城県臨床心理士会危機管理センター長 樋口広思氏

[演 題] 「宮城県の現状と課題」

[講師②] 岩手大学人文社会科学部
奥野雅子氏

[演 題] 「岩手県の現状と課題」

[講師③] 東北大学大学院教育学研究科
兪幪蘭氏

[演 題] 「仮設住宅・復興住宅のコミュニティ支援のエビデンス」

[講師④] TELL カウンセリング
石井千賀子氏

[演 題] 「あいまいな喪失」

〈ディスカッション〉

[コーディネーター]

宮城教育大学 久保順也氏

[パネリスト]

樋口広思氏、奥野雅子氏、兪幪蘭氏、
石井千賀子氏

参加ご希望の方は下記まで

お申し込み・お問い合わせ

東北大学教育学部教育学研究科総務係
koen@sed.tohoku.ac.jp

◎これからどうする? : 科学技術と社会5「科学技術と未来世代への責任」が開催されます

<http://www.tohoku.ac.jp/japanese/2016/09/event20160914-06.html>

これからを担う学生の皆さんが、将来取り組まなければならない科学技術と社会をめぐる課題について、「これからどうなる」ではなく「これからどうする」

という視点から、分野を越えて主体的に問い、考える機会を提供いたします。今回は、東北大学の野家啓一氏が「科学技術と未来世代への責任」というテーマで考えます。

日 時 2017年1月30日(月)

16:20~18:30

会 場 川内北キャンパス講義棟A棟
A406

当日参加も可能ですが、資料準備のためなるべく事前に、東北大学高度教養教育・学生支援機構へ氏名・所属・連絡先(E-mail)を明記の上、iehe-seminar@g-mail.tohoku-university.jpまでお申し込みください。

報 告

◎ナショジオオープンキャンパス2016 in 東北大学~ココリコ田中の動物これ知ってた? が開催されました

<http://www.tohoku.ac.jp/japanese/2016/10/news20160930-02.html>

2016年9月24日(土)、川内キャンパスマルチメディア教育研究棟のマルチメディアホールで「ナショジオオープンキャンパス2016 in 東北大学~ココリコ田中の動物これ知ってた?」が開催されました。

本イベントは、ナショナルジオグラフィックチャンネルとジェイコムイースト仙台キャベツ局が主催の教育推進イベントで、東北大学及び東北大学総合学術博物館の共催で開催されました。

東北大学理事花輪公雄氏、及びジェイコムイースト仙台キャベツ局長田中恒成氏による開会の挨拶に引き続き、芸能界随一の動物好きとして知られるココリコの田中直樹さんと、八木山動物公園副園長阿部敏計さん(東北大学学農学研究科OB)が登場。ナショジオによる動物の驚きの生態をとらえた動画がいくつも上

映され、来場した300名を超える小学生、保護者、学生は熱心に見入っていました。また、動物に関する質問コーナーでは、田中さんの軽快なトークに満員の会場は何度も笑いに包まれました。さらに田中さんは、東北大学学生から飛び出した『バイオリング』に今後何を期待する

か」というレベルの高い質問にも難なく答え、その博識ぶりに観客は大いに感心した様子でした。

また、イベントの開催に併せ、会場には東北大学総合学術博物館所蔵のライオンなどの骨格標本も展示され、来場者は興味津々に見入っていました。

東京大学

告知

◎東京大学音楽部管弦楽団スプリングコンサート2017が開催されます

<http://www.ut-orch.com/>

指揮 東京大学音楽部管弦楽団
終身正指揮者 三石精一氏

東京公演 2017年3月10日(金)

会場 東京芸術劇場 17:30開場

参加費 S席2,000円 A席1,500円
全席指定

お問い合わせ

todaiorch.tokyo2017@gmail.com

090-3507-6045

長野公演 2017年3月12日(日)

会場 長野市芸術館 17:00開場

参加費 1,000円全席自由

お問い合わせ

todaiorch.nagano2017@gmail.com

090-3515-0543

神奈川公演 2017年3月17日(金)

会場 横須賀芸術劇場 18:00開場

参加費 S席1,500円 A席1,000円
全席指定

お問い合わせ

todaiorch.kanagawa2017@gmail.com

090-3574-8123

豊田公演 2017年3月18日(土)

会場 豊田市コンサートホール

17:00開場

参加費 1,000円全席自由

お問い合わせ

todaiorch.tokyo2017@gmail.com

090-1842-8698

呉公演 2017年3月20日(月・祝)

会場 呉市文化ホール 12:30開場

参加費 1,000円全席自由

お問い合わせ

todaiorch.kure2017@gmail.com

080-9369-2721

◎戸隠地質化石博物館でイベントが開催されます

<http://www.tgk.janis.or.jp/~togakushi-museum/>

「戸隠地質化石博物館」は、東京大学総合研究博物館が、博物館の新たな存在形式を探る実験研究プロジェクト、「地域再生型博物館」として閉校した小学校に開設している博物館です。

戸隠を味わう～郷土料理で舌鼓?～

<http://www.tgk.janis.or.jp/~togakushi-museum/20170115.html>

日時 2017年1月15日(日)

10:00～15:00

会場 戸隠地質化石博物館

参加費 200円(別途材料費+入館料)

定員 20名(先着順)

持ち物 飲み物、エプロン、筆記用具など

お申し込み、お問い合わせは戸隠地質化石博物館へ電話(026-252-2228)でお願いします。

火山灰から宝探し

<http://www.tgk.janis.or.jp/~togakushi-museum/ash2016.html>

日時 2017年1月8日(日)

2017年2月5日(日)
2017年3月25日(土)
各日13:00~15:00

会場 戸隠地質化石博物館
参加費 200円(別途入館料)
定員 20名(先着順)

お申し込み、お問い合わせは戸隠地質化石博物館へ電話(026-252-2228)でお願いします。

骨のひみつ

<http://www.tgk.janis.or.jp/~togakushi-museum/bone2016.html>

日時 2017年1月22日(火)
2017年2月26日(日)
2017年3月12日(日)
各日13:00~15:00

会場 戸隠地質化石博物館
参加費 200円(別途入館料)
定員 20名(先着順)

名古屋大学

お知らせ

◎名古屋大学博物館第34回企画展 科学記録にみる美誇張なきアート 開催中

<http://www.num.nagoya-u.ac.jp/event/special/2016/161115.html>

既に開催中の第Ⅰ期に続き、第Ⅱ期がスタートします。第Ⅱ期では、植物の自然美を描いたボタニカルアートの作品を中心に展示されます。

第Ⅰ期 開催中~2017年1月28日(土)
10:00~16:00(入館15:30まで)

第Ⅱ期 2017年1月31日(火)~
2月25日(土)
10:00~16:00(入館15:30まで)

休館 日・月曜、年末年始
2017年1月14日(土)

会場 名古屋大学博物館
ボタニカルアート実演
『植物を記録する』

日時 第1回2017年2月15日(水)

お申し込み、お問い合わせは戸隠地質化石博物館へ電話(026-252-2228)でお願いします。

お知らせ

◎東京大学法学部の専修コースが変更されます

http://www.u-tokyo.ac.jp/gen01/c01_j.html

東京大学法学部の専修コースは、第一類(私法コース)、第二類(公法コース)、第三類(政治コース)となっておりますが、法学部のカリキュラム改革により、第一類(法学総合コース)、第二類(法律プロフェッション・コース)、第三類(政治コース)に変更されます。

2017年度に法学部に進学の学生から適用されます。

第2回2017年2月22日(水)
両日13:30~15:00

※内容や応募方法の詳細は、名古屋大学博物館Webサイトをご覧ください。

◎名古屋大学経済学研究科オープンカレッジが下記日程で開催されます

<http://www2.soec.nagoya-u.ac.jp/oc/schedule/>

2017年の講座は以下の通りです。お申し込みが必要です。上記URLよりお申し込みください。

- ①「地域包括ケアと自治体連携」
2017年1月21日(土)
- ②「経済学で考える世界と日本の電力市場改革」
2017年2月11日(土)
- ③「あいちシンクロトロン光センター—最近の状況と利用・解析の事例」
2017年2月18日(土)
- ④「利己・利他の限界—1・3人称の視点」

2017年3月11日(土)

時間 10:00~12:00
会場 名古屋大学経済学部棟(2階)
カンファレンスホール
参加費 無料

◎第24回名古屋ビジネスセミナー
「我が国航空宇宙産業の現状と展望」が開催されます

<http://www2.soec.nagoya-u.ac.jp/erc/>
名古屋大学国際経済政策研究センター主催のビジネスセミナーが開催されます。
講師 三菱重工株式会社名古屋航空宇宙システム製作所小牧南工場長
貞井俊介氏

日時 2017年1月23日(月)
18:00開場

会場 ウィンクあいち12階会議室
参加費 無料

事前申込制・定員100名・先着順です。
下記URLよりお申し込みください。
<https://fs224.formasp.jp/n268/form2/>

京都大学

お知らせ

◎第39回こころの未来セミナー
「晩年の生き方を考える」が開催されます

http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/social/events_news/department/kokoro/events/2016/170113_1400.html

「最後まで自分らしく生きるためには？」誰もが望むその答えを、生命倫理の専門家とともに考えます。普段触れることのない死の話も、具体的な例を挙げつつ事前指示書をあわせて解説します。

日時 2017年1月13日(金)
14:00開場

会場 稲盛財団記念館3階大会議室
対象 どなたでも参加いただけます。
定員 100名
参加費 無料

お知らせ

◎平成28年秋の叙勲・褒章受章者に名古屋大学名誉教授2名が決定しました

http://www.nagoya-u.ac.jp/about-nu/public-relations/award/28_2.html

千田潤一名誉教授と山口勝美名誉教授が教育研究功労関係の分野で瑞宝中褒章を受章されました。

◎篠崎一雄理化学研究所環境資源科学センター長が文化功労者として顕彰されました

<http://www.nagoya-u.ac.jp/about-nu/public-relations/award/20161031b.html>

平成28年文化功労者・文化勲章受章者が発表され、名古屋大学遺伝子実験施設助教授として在籍された篠崎一雄氏が文化功労者に選ばれました。

お申し込み 不要

お問い合わせ こころの未来研究センター・リエゾンオフィス
kokoro-liaison@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

◎アフリカ地域研究資料センター設立30周年記念公開講座「アフリカから学ぶこと」が開催されます

http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/research/events_news/department/africa/events/2016/170225_1522.html

アフリカ地域研究資料センターでは、設立30周年を記念して全5回の公開講座が開講されています。10月から毎月1回開講され、講師は新任教員を中心としたアフリカセンター教員が担当します。

日時 2017年1月21日(土)
2017年2月25日(土)

各日とも 14:30 開場
会場 京都大学稲盛財団記念館 3 階中会議室
対象 研究者のみならず、広く市民の方々に参加いただけます。
定員 先着 50 名
参加費 1 講座 1,000 円
申込締切日 各開講日直前の月曜日
お問い合わせ 京都大学アフリカ地域研究資料センター

報 告

◎第 4 回花山天文台野外コンサート が開催されました

http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/social/events_news/department/rigaku/news/2016/161015_1.html

2016 年 10 月 15 日 (土)、世界的な音楽家である喜多郎氏を招いて、第 4 回花山天文台野外コンサートが開催されました。同コンサートは、花山天文台の危機を知った喜多郎氏の応援もあって開催されているもので、第 4 回となる今回は、同氏の発案により、京都府教育委員会と京都市教育委員会の協力のもと、京都府下の高校生が多数招待されました。当日は、素晴らしい秋晴れの満月のもと、約 300 人の参加者が世界初の「古事記と宇宙」映像ライブコンサートを楽しみました。

◎経営管理研究部・教育部創立 10 周年記念講演会・式典・祝賀 会が開催されました

http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/events_news/department/ba/news/2016/161022_1.html

2006 年 4 月に創立された経営管理研究部・教育部が、2016 年 4 月 1 日に 10 周年を迎えたことを記念し、2016 年 10 月 22 日 (土)、百周年時計台記念館において、記念講演会・式典・祝賀会が開催されました。京都大学内外より約 400 名の参加となりました。

◎アウン・サン・スー・チー氏への 名誉博士称号贈呈式および学生と の対話会が開催されました

http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/ja/about/events_news/office/kikaku-joho/kokusai-kikaku/news/2016/161103_1.html

2016 年 11 月 3 日 (木)、京都大学稲盛財団記念館において、山極壽一総長他、京都大学理事・副学長、研究科長、ミャンマー政府、外務省、文部科学省等関係者出席のもと、アウン・サン・スー・チー氏 (ミャンマー連邦共和国国家最高顧問) への京都大学名誉博士称号贈呈式が挙行されました。学術文化の礎ともいえる自由と民主主義の世界的発展に多大な功績のあったアウン・サン・スー・チー氏に対し、京都大学において顕彰することが適当と認め、名誉博士の称号贈呈を決定したものです。名誉博士の授与はアウン・サン・スー・チー氏で 14 人目となりますが、今回はじめて、自由や民主主義といった普遍的な価値の発展に尽力した個人への授与となりました。

◎化学研究所創立 90 周年記念行事 が挙行されました

http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/events_news/department/kagaku/news/2016/161111_1.html

1926 年 10 月 4 日に設置され、2016 年秋に創立 90 周年を迎えた化学研究所が、2016 年 11 月 11 日 (金)、創立 90 周年記念行事として、記念講演会・式典・展示会および祝賀会を百周年時計台記念館において挙行されました。百周年記念ホールにて行われた記念講演会・式典には、官学会・産業界から 200 名を越える参加があり、一般参加等もあわせて、定員 500 席が満席となる盛況ぶりでした。記念祝賀会も約 300 名を超える参加となりました。

◎京都大学名誉教授懇談会が開催されました

http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/events_news/office/soumu/soumu/news/2016/161113_1.html

2016年11月13日(日)、百周年時計台記念館国際交流ホールにおいて、第89回名誉教授懇談会が開催され、54名の名誉教授の他、山極壽一総長他、京都大学理事、部局長等あわせて62名が参加しました。

秋に行われる名誉教授懇談会では、当該年度に名誉教授の称号を授与された教授(文系・理系各1名)による講話を行うことが慣例となっており、文系からは新宮一成名誉教授(人間・環境学研究科)による「夢と神話のほんとうの関係とは?」、理系からは平岡真寛名誉教授(医学研究科)による「医工連携・産学連携による医療機器開発」と題した講話が行われました。

◎「東京で学ぶ京大の知」シリーズ 23「人工知能と人間社会」第4回が開催されました

http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/social/events_news/office/soumu/shogai/news/2016/161115_1.html

連続講演会「東京で学ぶ京大の知」のシリーズ23は、「人工知能と人間社会」をテーマに2016年11月15日(火)、京都大学東京オフィスで開催されました。シリーズ23の第4回は、「AIブームは本物か? 一米国の場合、日本の場合一」と題し、京都大学文学研究科教授林晋氏が講演を行いました。

◎京都大学基金に「京都大学修学支援基金」が設置されました

http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/research/events_news/office/soumu/shogai/news/2016/161108_3.html

新たに京都大学基金に設置された「京

都大学修学支援基金」は、経済的な理由により修学に困難がある学生を支援することを目的としています。意欲と能力ある学生が希望する教育を受けられるために役立てられます。

◎京都大学基金に「経済学部百周年記念事業基金」が設置されました

http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/research/events_news/office/soumu/shogai/news/2016/161108_2.html

2019年に100周年を迎える経済学部の記念事業を支援するための基金である、「経済学部百周年記念事業基金」が京都大学基金に新たに設置されました。京都大学経済学部100年の伝統を継承し、さらなる飛躍を目指すために役立てられます。

◎京都大学基金に「霊長類研究基金」が設置されました

http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/research/events_news/office/soumu/shogai/news/2016/161108_1.html

京都大学霊長類研究所の活動を支援するための基金である、「霊長類研究基金」が京都大学基金に新たに設置されました。創立50周年を迎えるにあたり、研究・飼育施設の整備や広報活動を行い、霊長類研究の総合拠点として、日本生まれの「霊長類学」のさらなる発展に尽くすために役立てられます。

◎京都大学基金に「宇治川オープンラボトリー基金」が設置されました

http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/social/events_news/office/soumu/shogai/news/2016/161006_1.html

京都大学防災研究所の活動を支援するための基金である、「宇治川オープンラボトリー基金」が京都大学基金に新たに設置されました。最先端の防災・減災

研究と地域の防災活動をつなぐことで、災害リスクを軽減するために役立てられ

ます。

大阪大学

告知

◎大阪大学交響楽団第108回定期演奏会が開催されます

<http://handaiphil.s198.xrea.com/concert00.html>

日時 2017年2月5日(火)

13:00開場

会場 吹田市文化会館メシシアター

大ホール

指揮 横島勝人

参加費 1,000円全席自由

◎第22回動物園前サイエンスカフェ『ゲノム編集技術で、おとなしいマダロを作成する』が開催されます

<http://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/seminar/2017/01/7168>

水産研究・教育機構西海区水産研究所主任研究員玄浩一郎氏に、ゲノム編集の技術を使って、マダロ自身の性格・行動を変える研究を紹介していただきます。

日時 2017年1月28日(土)

14:00~16:00

会場 動物園前1番街イベントスペース

参加登録 不要

お問い合わせ 大阪大学理学研究科

長野八久氏

nagano@chem.sci.osaka-u.ac.jp

◎日本経済再生に向け“真の処方箋”を考える(Handai-Asahi 中之島塾)

<http://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/seminar/2017/01/7174>

日時 2017年1月28日(土)

10:30~12:00

講師 大阪大学大学院経済学研究科講師
白井正樹氏

会場 大阪大学中之島センター

受講料 1,620円

参加登録 必要(Web登録)

お申し込み 朝日カルチャーセンター

https://www.asahiculture.jp/nakanoshima/course/genrelist/genre?genre_id=20200000

◎イヌイトの「野生の科学」：人類の未来への問い(Handai-Asahi 中之島塾)

<http://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/seminar/2017/02/7175>

日時 2017年2月4日(土)

13:30~15:00

講師 大阪大学大学院言語文化研究科准教授 大村敬一氏

会場 大阪大学中之島センター

受講料 1,620円

参加登録 必要(Web登録)

お申し込み 朝日カルチャーセンター

https://www.asahiculture.jp/nakanoshima/course/genrelist/genre?genre_id=20200000

◎緑内障・白内障治療の最前線(Handai-Asahi 中之島塾)

<http://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/seminar/2017/02/7176>

日時 2017年2月18日(土)

10:30~12:00

講師 大阪大学大学院医学系研究科講師
三木篤也氏

会場 大阪大学中之島センター

受講料 1,620円

参加登録 必要(Web登録)

お申し込み 朝日カルチャーセンター

https://www.asahiculture.jp/nakanoshima/course/genrelist/genre?genre_id=20200000

報 告

◎大阪大学特別講演会が開催されました

http://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/topics/2016/11/20161121_01

2016年11月17日(木)、建築家安藤雄氏を講師として、「大阪大学特別講演会」が開催されました。会場の大阪大学コンベンションセンターには、約500名の学生・教職員が参加し、「夢は自分でつくる」と題した講演を聴講しました。安藤氏が建築に携わる中で経験されたことや当時の心境を、時折ジョークを交えながら話され、今後の日本の発展を担っていく学生たちに刺激となるよう

なメッセージに対して、学生たちは真剣な表情で耳を傾けていました。その後の質疑応答では、学生たちから積極的に質問が行われ、会場は終始熱気に包まれながら、最後は惜しめない拍手とともに終了しました。

◎4学期制が導入されます

http://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/topics/2016/11/20161108_02

大阪大学は、2017年年4月から全学生を対象に「4学期制」を導入します。4学期制とは、1年間を4つの学期に区分し、1学期あたり8週の授業実施期間を設ける制度です。

九州大学

報 告 知

◎第3回「医学のうねり」セミナーが開催されます

「医学教育における人体構造の探求—過去から未来へ」と題としたセミナーを九州大学医学歴史館が開催されます。

日 時 2017年1月28日(土)
13:30~16:00

会 場 九州大学医学部百年講堂中ホール
参加費 無料・どなたでも参加いただけます。申し込みは不要ですが、定員150名を超えた場合、入場をお断りする事があります。

講師① 九州大学医学歴史館
井手麻衣子氏

演 題 九州帝国大学医学部における教材開発

講師② 九州大学医学部解剖学教授
神野尚三氏

演 題 脳と心と解剖学—その歴史と現在
特別発言 九州大学医学歴史館 原寛氏

【特別講演】

講 師 九州大学文書館教授
折田悦郎氏

演 題 県立福岡病院について—九大医学部の源流

お問い合わせは、九州大学医学歴史館まで電話(092-642-4856)でお願いします。

担 当 小林晶氏・赤司友徳氏

◎「九州大学の昆虫標本 part 4.」が開催中

<http://www.museum.kyushu-u.ac.jp/event/>

400万点を超す九州大学の昆虫標本の中から、世界の美しい甲虫を一堂に集めました。世界中の珍しいムシたちが、皆様のお越しをお待ちしています。

日 時 開催中〜2017年1月予定
平日 8:00~22:00
土日祝日 10:00~18:00

会 場 箱崎キャンパス中央図書2F エントランス常設展示コーナー

◎九州大学修学支援事業基金へのご寄附について

<http://doso-rengo.jimu.kyushu-u.ac.jp/>
九州大学では、経済的理由により修学が困難な学生を支援するため、新たに基

金を設置し、寄附の募集をスタートします。

〈学生支援〉

一人当たり月額3万円、毎年30名に対して、返済不要の給付型奨学金を創設することを検討しています。

〈寄附目標額〉

年間募金目標額を1,000万円として、九州大学の学生を応援して下さる方からの寄附を募ります。

詳細は下記URLを参照ください。

http://kikin.kyushu-u.ac.jp/news/read.php?word=&page=1&N_Code=113

報 告

◎九州大学山岳部・山岳会合同登山隊ネパール・ヒマラヤ、ナヤカンガ峰登頂に成功

<http://www.kyushu-u.ac.jp/ja/topics/view/1138>

2016年9月23日(金)、九州大学山岳部・山岳会(山岳部OB・OGの会)の合同登山隊が、ネパール国の中部ヒマラヤにあるランタンヒマール山群のナヤカンガ峰(5,844m)登頂に成功しました。

一昨年4月M7.8の大地震によって、同国ランタンヒマールも大きな被害を受けましたが、2016年に入って登山活動が可能となりました。九州大学山岳会ではユネスコ等を通じてこれまで復興支援活動を行ってきました。

本登山隊は、九州大学名誉教授中溝幸夫氏を隊長とし、現役山岳部部員8名、山岳会会員2名、合計11名の隊員から構成されました。9月23日(金)、山岳部員6名とシェルパ4名が頂上アタック

に向かい、10名全員が山頂までたどり着き、その後、無事にベースキャンプまで下山しました。8名もの現役山岳部員がヒマラヤ登山に行くのは部創立以降初めてのことで、隊員は高山病に悩まされながらも登頂に成功しました。

◎中野三敏名誉教授が文化勲章を受章しました

<http://www.kyushu-u.ac.jp/ja/topics/view/1136>

九州大学名誉教授中野三敏氏が平成28年度文化勲章を受章しました。

◎『WSSF2018』公式ロゴマーク・デザインコンテスト最優秀作品が決定しました

2018年9月に九州大学が主催する国際会議『World Social Science Forum 2018』の公式ロゴマークに九州大学芸術工学府芸術工学専攻劉小宇さんの作品が採用となりました。

◎九州大学修士1年水野諒大さんがグランプリ受賞

<http://www.design.kyushu-u.ac.jp/kyushu-u/topics/detail?nid=1115>

オートデスク株式会社が主催したプロ・アマを問わないデザインコンペティション「AUTODESK CREATIVE DESIGN AWARDS 2016」において、九州大学大学院芸術工学府デザインストラテジー専攻修士1年水野諒大さんが、内部に隆起を設け攪拌を促すことでマドラーやスプーンがなくても粉末を溶かすことができるコップ「SWELL」で、グランプリを受賞しました。

同窓会案内・開催報告

七大学共通

報告

◎巣鴨会バーベキュー交流会が開催されました

旧七帝大系若手交流会・巣鴨会では2016年11月13日(日)、バーベキュー交流会が開催されました。絶好の晴天に恵まれたバーベキュー会場の小金井公園には61人の参加者が集い、ロブスターや丸鶏、焼きリングゴなどさまざまな料理に舌鼓を打ちつつ交流を深めました。会の後半には参加者一人ひとりに有名店のケーキが振る舞われ、参加者の間に笑顔が広がりました。

次回は、2017年1月15日(日)に、新年会を開催予定です。また、3月以降も奇数月に各種交流会を開催していきます。巣鴨会へのお問い合わせや入会お申し込みは、久保真一氏(九大・法・平15年卒)までメール(kubo@wind.ocn.ne.jp)でご連絡ください。



◎七大学若手会第6回講演会が開催されました

2016年9月10日(土)、東急キャピトル

タワーにて、七大学若手会(会長:許志国氏京大修士)第6回講演会が開催され、総勢41名(男26名、女15名)の参加がありました。

今回の講演会は、学士会共催、京都大学・大阪大学後援、青島ビール社協賛で行われました。

講演会では、京都大学特任教授で前経済産業研究所長の藤田昌久氏が「グローバル化と知の時代に活躍される若手の皆様へ～土木工学から人工知能まで、日米欧中の学問遍歴から語る～」と題した講演で、創造力・基礎知識・疑問を持つことの大切さを力説されました。

懇親会では、グループに分かれ、「高さ・ユニークさ・美しさ」を競うペーパークラフトゲームを行いました。相互投票により決定した、高さ・ユニークさ・美しさの各一等賞と総合優秀チームに、講師の名を冠した「藤田賞」が贈られました。

幹事団の準備と当日の様子は、若手会Webサイトと若手新聞をご覧ください。

【七大学若手会Webサイト】<http://wakatekai.jp>



北海道大学同窓会

報告

◎北海道大学寮歌祭が開催されました

「第15回北海道大学寮歌祭」が2016年10月22日(土)、大田区産業プラザで開催されました。卒業生の家族を含め約200名

が参加、現役北大応援団・応援吹奏団も応援に駆け付けました。

参加者は4時間にわたってグループごとに太鼓に合わせて30曲以上の寮歌・校歌・運動部歌を唱和、最後は全員が一つの円陣となって、『都ぞ弥生』を5番まで歌い、一体感に包まれた感動のフィナーレとなりました。北大寮歌祭は、毎年秋に開催されます。



◎北海道大学山岳部創立 90 年記念会 が開催されました

大正 15 (1926) 年 11 月に創立された北海道大学山岳部は昨年 90 年を迎え、2016

年 11 月 8 日 (火)、学生会館でお祝いの会が開催されました。

10 年に一度の催しですが、今回初めて札幌ではなく、東京での開催となりました。

雪の札幌から現役学生部員 20 名、全国から 19 歳～97 歳までの OB・OG 等合わせて 120 名、他大学山岳部などからも 80 名の参加があり、ひたすら山の話で盛り上がりました。

冬期末踏峰だったペテガリ岳初登りで 97 歳の、今村昌耕氏も出席され、全員が当時の話に聴き入っていました。



東北大学同窓会

告知

◎萩友会関西交流会が開催されます

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/alumni/>

【日 時】 2017 年 3 月 5 日 (日)

【会 場】 ホテルグランヴィア大阪

詳細は萩友会事務局にメール (alumni@grp.tohoku.ac.jp) でお問い合わせください。

報告

◎東北大学北海道同窓会連合会総会・ 講演会・懇親会が開催されました

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/alumni/>

2016 年 11 月 18 日 (日) 17:30 から、東北大学総長里見進氏、東北大学工学研究科教授吉澤誠氏出席のもと、ホテル札幌ガーデンパレスにて北海道同窓会連合会総会・講演会・懇親会が開催されました。

平成 28 年度総会の後、東北大学大学院文学研究科教授岡龍作氏による「仏像からみる古代日本のこころ」と題した講演が行われました。懇親会では里見総長の出席により、例年より盛り上がりを見せました。

◎東北大学秋田県同窓会総会・講演 会・懇親会が開催されました

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/alumni/>

2016 年 11 月 16 日 (水) 18:00 から、東北大学未来科学技術共同研究センター教授長谷川史彦氏出席のもと、秋田ビューホテルにて秋田県同窓会総会・講演会・懇親会が開催されました。

平成 28 年度総会の後、秋田県医師会副会長坂本哲也氏による「国家戦略としての認知症対策」と題した講演と懇親会が行われました。

告知

◎さつき会 2017 年新年会が開催されます

<http://www.satsuki-kai.net/>

【日 時】 2017 年 2 月 10 日 (金)
18:30~ (18:00 受付開始)

【会 場】 学士会館レストラン「Latin」

【会 費】 5,000 円+飲み物代

下記 URL よりお申し込みください。

<https://ssl.kokuchese.com/event/entry/413000/>

◎関西東大会創立 30 周年記念大会が開催されます

<http://blog.kansaitodaikai.main.jp/?eid=1398562>

関西東大会では、第 31 回総会兼平成 29 年新年祝賀会が「関西東大会創立 30 周年記念大会」として開催されます。

【日 時】 2017 年 2 月 5 日 (日) 16:00~

【会 場】 ホテルグランヴィア大阪

【講 演】 前東京大学総長濱田純一氏

詳細は関西東大会にメール (kansaitodaikai@iy.main.jp) でお問い合わせください。

◎東京銀杏会第 22 回トップフォーラムが開催されます

<http://tokyo-uni-dousoukai-rengoukai.org/index.php?FrontPage>

東京銀杏会第 22 回トップフォーラムは、「人工知能のこれからと人類の未来」をテーマに開催されます。

【日 時】 2017 年 3 月 4 日 (土) 13:30~

【会 場】 東京大学本郷キャンパス理学部小柴ホール

【コーディネーター】

東京大学大学院工学系研究科特任准教授
松尾豊氏

【パネリスト】

独立行政法人理化学研究所脳科学総合研

究センター・脳数理研究チーム特別顧問
シニアチームリーダー東京大学名誉教授
甘利俊一氏

東北大学大学院医学系研究科教授、総長
特別補佐 (男女共同参画担当)、医学系研
究科附属創成センター長 大隅典子氏

作家、法政大学国際文化学部教授

島田雅彦氏

早稲田大学政治経済学術院教授

若田部昌澄氏

詳細は、下記 URL を参照ください。

<http://tokyo-ichokai.com/>

報告

◎東京大学同窓会連合会第 7 回全国大会が開催されました

<http://tokyo-uni-dousoukai-rengoukai.org/index.php?FrontPage>

2016 年 10 月 14 日 (金)、学士会館 320 号室で、東京大学同窓会連合会第 7 回全国大会が開催され、62 名の参加がありました。

東京大学同窓会連合会本部報告の後、東京大学総長五神真氏による講演「知のプロフェッショナルの育成と知の協創世界拠点の形成～東京大学ビジョン 2020」が行われました。

懇親会は、東京大学同窓会連合会会長有馬朗人氏の挨拶、東京銀杏会会長篠澤恭助氏 (学士会理事) による乾杯の発声で始まりしました。

懇親会の途中では、ボーカリストの鈴木重子氏 (東京銀杏会・浜松銀杏会会員) による語りと歌を楽しみました。

中締めでは、関西東大会副会長夏住要一郎氏が、本年 2 月 5 日に開催される「関西東大会創立 30 周年記念大会」への出席を呼び掛けました。

乾杯に使われた日本酒は、東京大学ポート部 OB 会から「東京大学の酒を造りたい」、との依頼を受けた栃木の惣善酒造が、

「惣^{きもと}生^{もと}配仕込純米大吟醸 720 ml」に、版画家原田維夫氏制作のラベル「淡青」を貼り、発売したもので、東京大学ボート部OB会が大学の承認を得て、商標登録を果たしました。現在は、ボート部OB会を中心とした東京大学関係者に販売されていますが、今後については検討中とのことです。地域同窓会での使用をご希望の場合は、東京大学同窓会連合会本部事務局までお問い合わせください。



◎第 18 回福岡銀杏会総会が開催されました

<http://tokyo-uni-dousoukai-rengoukai.org/index.php?FrontPage>

2016年9月10日(土)、ホテル・オークラ福岡オークルームにて第18回福岡銀杏会総会・講演会が開催されました。

総会の後、東京大学宇宙線研究所宇宙基礎物理学研究部門重力波観測研究施設准教授三代木伸二氏による講演「宇宙を観測する新しい窓、重力波」が行われました。

懇親会は平安の間で行われ、参加者の半数を占める平成卒の若い会員で会場は活気にあふれていました。現在第一線で活躍中の先輩と名刺交換や忌憚ない会話をする機会が持てるのは、同窓会ならではの醍醐味でしょう。

懇親会終了後は、三々五々と二次会に向かう姿が見られました。

名古屋大学同窓会

告知

◎キタン会 2017 年新年祝賀会が開催されます

http://www.kitankai.net/modules/pico1/index.php?content_id=17

【日 時】 2017年1月14日(土)
16:00~19:30

【会 場】 ザ・サイプレス・メルキュール
ホテル名古屋

【参加費】 一般(30歳以上) 7,000円
30歳未満、女性 4,000円
学生、院生 2,000円
新入生(学部1年) 無料

【連絡先】 キタン会事務局

kitankai@crux.ocn.ne.jp

第1部 新春講演会「葉の話、心の話」

【講師①】 アルフレッサ最高顧問
横井太氏(昭45年卒)

【講師②】 正雲寺僧侶
井上重信氏(昭36年卒)

第2部 ニューイヤー・パーティ

◎関西キタン会新春講演会・懇親会が開催されます

http://www.kitankai.net/modules/pico1/index.php?content_id=17

【日 時】 2017年1月21日(土)
11:00~14:30

【会 場】 中央電気倶楽部

【参加費】 5,000円

【連絡先】 天神橋税理士法人
竹村聡氏(平4年卒)

【TEL】 06-6364-6626

【メール】 take55@office-tenjin3.com

第1部 講演会「経済学との付き合い方」

【講師】 名古屋大学大学院経済学研究科
教授(経営組織論) 犬塚篤氏

第2部 懇親会

◎名大遠州会第22回同窓会が開催されます

<https://www.nual.nagoya-u.ac.jp/index.html>

【日 時】 2017年6月10日(土) 18:00～
【会 場】 オークラクトシティホテル浜松
詳細は名古屋大学遠州会同窓会事務局長
原田憲道氏にメール (ensuhurd@yahoo.
co.jp) でお問い合わせください。

報 告

◎第19回名古屋大学農学部同窓会 関東支部総会が開催されました

2016年11月19日(土)、学士会館203
号室にて、第19回名古屋大学農学部同窓会
関東支部総会が開催されました。参加者は
25名でした。

名古屋大学農学部同窓会関東支部支部長
石川靖文氏より、支部の現況や今後の方向
性についての報告の後、日本大学教授甲斐
藏氏(農博)と海外貨物検査(株)原田亜由美

氏(農・平19年卒)による講演がありました。
原田氏は、農学部同窓会関東支部史上
初となる平成卒の講師で、初の女性講師で、
記念すべき講演でした。



◎平成28年度鏡ヶ池会(名古屋大学 工学部土木系同窓会)東京支部総会 が開催されました

2016年11月18日(金)、主婦会館プラ
ザエフにおいて、平成28年度鏡ヶ池会東京
支部総会が開催されました。参加者は約
100名でした。

京都大学同窓会

告 白

◎芝蘭会東京支部総会ならびに京都大学 健康科学フォーラムが開催されます

2017年1月21日(土)、学士会館にて、
芝蘭会東京支部総会ならびに京都大学健康
科学フォーラムが開催されます。詳細は、
芝蘭会事務局に電話(075-751-2713)で
お問い合わせください。

報 告

◎第10回京大以文会東京支部総会・ 懇親会が開催されました

[http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/social/
events_news/office/soumu/shogai/
news/2016/160924_1.html](http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/social/events_news/office/soumu/shogai/news/2016/160924_1.html)

2016年9月24日(土)、京大以文会東
京支部の総会・懇親会が日本教育会館喜山
倶楽部で開催され、OB・OG 33名、在学
生会員 45名が出席しました。

昨年は東京支部創立10年目で、また同日
開催の文学部・文学研究科主催のキャリア

ガイダンスは第5回目といずれも区切りの
年の開催となりました。

◎平成28年度石川県京都大学同窓会 が開催されました

[http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/social/
events_news/office/soumu/shogai/
news/2016/161019_1.html](http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/social/events_news/office/soumu/shogai/news/2016/161019_1.html)

2016年10月19日(水)、金沢市内のホ
テルにおいて、京都大学卒業(修了)生約
90名が参加し、平成28年度石川県京都大
学同窓会が開催されました。総会では、石
川県京都大学同窓会会長澁谷弘利氏(経・
昭28年卒)の開会挨拶のあと、京都大学理
事・副学長北野正雄氏による「京都大学に
おける教育改革の取組について」と題した
講演がありました。

◎シンガポール同窓会(洛星会)の懇 親会が開催されました

[http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/social/
events_news/office/soumu/shogai/
news/2016/161020_1.html](http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/social/events_news/office/soumu/shogai/news/2016/161020_1.html)

2016年10月20日(木)、シンガポール市内において、シンガポールに在住する京都大学卒業(修了)生ならびに留学生を会員とする同窓会「洛星会」に、篠田研次シ

ンガポール特命全権大使(法・昭51年卒)をお招きし、懇親会が開催され、46名の参加がありました。

大阪大学同窓会

報告

◎平成28年度咲耶会総会が開催されました

大阪大学外国語学部・大阪外国語大学同窓会「咲耶会」の総会が2016年10月22日(土)、大阪大学中之島センターで開催されました。

総会では、ペルシア語学科卒業の放送大学教授高橋和夫氏による講演「イスラム国の野望」も行われ、現代の世界が抱える大きな問題とあって100名を超える参加者が熱心に聴き入っていました。

総会後には懇親会が開かれ、卒業生・教職員が親交を深めました。

九州大学同窓会

告知

◎九州大学校友会(仮称)がWebサイトの提供を開始しました

<http://koyukai.kyushu-u.ac.jp/news/detail/55>

九州大学校友会(仮称)は、卒業生や教職員等の相互の親睦を深め、九州大学との連携・協力の更なる充実を図るため、卒業生や教職員等を構成員とする様々なグループや任意の集まりを緩やかに統合し、その活動を支援します。その支援の一環として、同窓生(卒業生、修了生)、教職員(退職者を含む)が『無料』で利用できるWebサイトを提供しています。ぜひ、所属されている集まり(グループ)で九州大学校友会(仮称)Webサイトをご利用ください。

登録いただけるグループ

同窓会、同門会、同好会、研究室・ゼミ等、運動部・サークルOB会、同期会、クラス会、海外、出身地区、出身高校、企業内、職域、同業種、特定分野等でその一部の方の集まりも含まれます。

九大百年の手ぬぐいをプレゼント

今、九州大学校友会(仮称)Webサイトの利用を開始すると、「先着」で「九大百年の手ぬぐい」をプレゼントいたします。数に限りがありますので、お早め。

【お問い合わせ】

九州大学校友会(仮称)事務局(九州大学総務部同窓生・基金課内)

【TEL】 092-802-2156

【E-mail】 inquiry@koyukai.kyushu-u.ac.jp

報告

◎九州大学松韻弓友会S46年卒同期会が開催されました

http://koyukai.kyushu-u.ac.jp/alumni/162/association_news/detail/655

2016年11月12日(土)、13日(日)の一泊二日でS46年卒の同期会が由布院倶楽部にて初めて開催されました。18名中12名と同伴者1名の参加があり、好天気にも恵まれて盛会でした。

会 員 通 信

会 員 活 動 報 告

学士会探秀会 第五回・第六回見学会の開催

学士会探秀会では、2016年10月5日（水）に第五回見学会を開催、全日本空輸（株）の懇切な案内により、午前から午後にかけて同社の機体整備工場（羽田地区）や安全教育センター（下丸子地区）などを見学しました。次いで12月2日（金）午後には、第六回見学会として文京区千駄木地区に所在する旧安田楠雄邸（東京都指定名勝）および文京区立森鷗外記念館の見学を実施しました。

目下、定時総会・懇親会を2017年2月16日（木）に学士会館内にて開催すべく、準備を進めています。探秀会の会員数は既に40名を超えていますが、入会のご相談は学士会会員支援課まで（平日9:00-17:00 03-3292-5932）ご連絡ください。

（川口順啓 会員 東大・法・昭32）



機体整備工場
にて



会員著作物紹介

『アメリカ大学研究生活 50 年』

(古今書院)

9ヶ月研究の予定が日米両国の社会・経済事情の急変でデューク大学に13年、後、南カロライナ大学に36年、計約50年滞米。その間、後に、バイオミネラリゼーション研究と呼んだ生物の鉱物形成作用の研究を開発。南カロライナ大では、豊富な研究費を米政府機関から得て、電子顕微鏡等も購入し、米国2、日本延べ15、インド1、ドイツ3名の研究者を招いて研究に励みました。ここに、米国内外における筆者の活動を紹介します。

(渡部哲光 会員 東北大・理・昭23)



『サウスカロライナ鉄道物語』

(古今書院)



南カロライナ州旧首都チャールストン市とサヴァナ河畔ハンブルグを結び、当時世界最長を誇った218kmのサウスカロライナ鉄道は同市の没落阻止のため、チャールストンの有志が立案し、州政府、一般市民の協力を得て1833年に開通しました。本書は建設の苦難；本線、分岐線沿線の各市町村の概要；列車構成と運行；行政、庶民の感情；州政、産業への影響；南北戦争等、この鉄道に纏わる話や、現在の市民生活への影響などについて述べます。

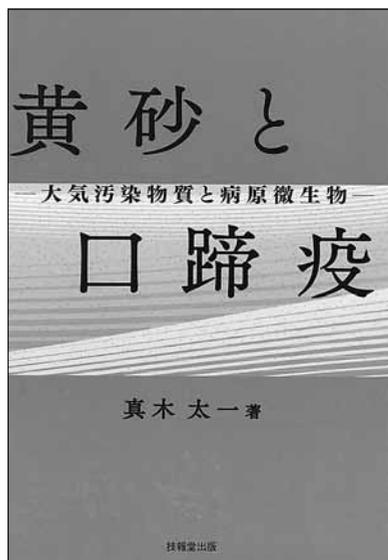
(渡部哲光 会員 東北大・理・昭23)

『黄砂と口蹄疫—大気汚染物質と病原微生物—』

(技報堂出版)

2010年に宮崎県で口蹄疫が発生・蔓延して29万頭の牛・豚・羊など偶蹄類の家畜が殺処分されました。この原因は、中国甘粛省から黄砂が運んで来た口蹄疫ウイルスであると推測されます。本書では黄砂の特性を紹介するとともに、黄砂による口蹄疫輸送機構および輸送時の紫外線・乾燥などの耐性特性などを解説しています。また、麦さび病の黄砂輸送機構も解説しています。

(真木太一 会員 東大・農博・昭51、
九大・農修・昭43)



『人工降雨—渇水対策から水資源まで—』

(技報堂出版)



人工降雨法には、ヨウ化銀法、ドライアイス法、散水法がありますが、条件がよく雨が降っても水資源として利用できるほどの水量は得られません。ここで紹介する液体炭酸法は水資源として十分利用できるほどの水量が得られます。従来法に比べて10~100倍の水量です。この研究成果について解説しています。その後、伊豆諸島、志摩半島南方、西条市、福岡市等々で成功しています。(真木太一 会員 東大・農博・昭51、九大・農修・昭43)

『海馬島脱出～子どもたちの敗戦記』

(まつお出版)

日本の北辺で“宝の島”といわれた樺太の離島・海馬島。高山植物が咲き乱れ、豊かな海の恵みを受けて百数十戸、七百人が暮らした平和な島だが、1945年8月、敗戦で一変。ソ連軍が侵攻するなか、冬が来る前にほぼ全島民が着の身着のまま、宗谷海峡を越えて命からがらの脱出に成功した。戦後71年の今も消えない、当時の子どもたちの記憶一。知られざる島の歴史や緊迫の脱出劇を元島民らの証言で綴る、類書のないドキュメント。

(永井豪 会員 名大・農・昭49)



『賞味期限のウソ 食品ロスはなぜ生まれるのか』 (幻冬舎)



卵の賞味期限は通常、産卵日から3週間だが、実は冬場なら57日間は生食可。卵に限らず、ほとんどの食品の賞味期限は実際より2割以上短く設定されている。だが消費者の多くは期限を1日でも過ぎた食品は捨て、店では棚の奥の日付が先の商品を選ぶ。小売店も期限よりかなり前に商品を撤去。その結果、日本は、まだ食べられる食品を大量に廃棄する「食品ロス」大国となっている。しかも消費者は知らずに廃棄のコストを負担させられている。食品をめぐる、この「もったいない」構造に初めてメスを入れた衝撃の書!

(井出留美 会員 東大・農修・平27)

『NU7』原稿

『NU7』では、「表紙写真」「会員通信」「同窓会案内・開催報告」の原稿を会員の皆様から募集しています。
発行部数は5万部以上、会員以外の方にも広く配布しています。

皆様と一緒に作り上げていく学士会の情報誌『NU7』、
たくさんのご投稿をお待ちしています。

表紙写真

- ・写真のテーマは自由です。
- ・2122ピクセル×2977ピクセル（350dpiの場合）以上のカラー・縦組み写真を希望しています（冊子サイズはA5判・天地210mm×148mm）。
- ・横組み写真の場合、トリミングにて対応可の場合がありますが、トリミング位置の指定はできません。
- ・目次頁に、「氏名・卒業大学・学位・卒年」を掲載いたします。

会員通信

会員著作物紹介（『NU7』・学生会館展示連動企画）

- ・著作名・著作者・紹介文（200字以内）・著作物表紙写真をお送りください。
ご寄贈いただければ、学生会館談話室に展示いたします。但し、会員本人の著作物であること、一般販売しているものに限りません。

会員ギャラリー（『NU7』・学生会館展示連動企画）

- ・絵画・生け花・陶器などの作品写真などをお送りください（2～3点）。
学生会館学生会ブースへの展示も承ります。

会員活動報告

- ・会員同士の交流やイベントの報告内容（200字程度）・写真（1～2枚程度）をお送りください。

会員の声

- ・テーマは自由です。
- ・800字以内（写真掲載希望の場合、写真は1枚・600字以内）にまとめて、お送りください。

募集のご案内

同窓会「開催告知」及び「開催報告」

開催告知

・同窓会名称・開催日・開催場所・連絡先（問い合わせ先）をお送りください。

開催報告

・開催された会を報告する内容の文章を 300 字以内・写真を 1～2 点お送りください。

//// 投稿にあたって ////

氏名・会員番号（又は、出身大学・学部・卒年）を明記の上、
広報渉外課までメールにてお送りください。

送付先 koho@gakushikai.or.jp

※投稿の受信確認及び、掲載可否の連絡はいたしません。

※掲載作品は『NU7』編集委員会で選定されたものとなり、選考に関する質問にはお答えできません。

※掲載及び、掲載時期は『NU7』編集委員会で決定いたします。

※紙面の都合上、編集させていただく場合がございます。

※原稿（データを含む）は原則として返却いたしません。

※政治・宗教・団体や個人への毀誉褒貶に関わる投稿は受け付けできません。また、差別表現などは修正いただく場合がございます。

※掲載作品の著作権は、本会に帰属します。

※お送りいただきました内容は、学士会交流サイト「謝恩の情」(<http://www.gakushikai-salon.jp>)にも掲載させていただきます。

※著作物・絵画等の展示詳細は、お問い合わせください。

告知 学士会主催



夕食会・午餐会 (2017年
1月～3月)

[場 所] 学士会館

[参加費] 4,000円 (講演のみ 2,000円)

◎**夕食会** (18:00～食事/18:50～講演/19:50～質疑応答)

1月は休会です。

2月10日(金) 小林 喜光氏 (株式会社三菱ケミカルホールディングス取締役会長)

「(仮題) サステナビリティ経営」

1969年東京大学教養学部卒業。1971年東京大学大学院理学系研究科修士課程修了。1974年三菱化成工業株式会社入社。1975年理学博士(東京大学)。2007年株式会社三菱ケミカルホールディングス代表取締役社長、三菱化学株式会社代表取締役社長。2012年三菱化学株式会社取締役会長。2015年株式会社地球快適化インスティテュート取締役会長。株式会社三菱ケミカルホールディングス取締役会長、公益社団法人経済同友会代表幹事。

3月10日(金) 松原 仁氏 (公立はこだて未来大学副理事長/前人工知能学会会長)

「人工知能最前線～人間はAIとどう付き合っていくべきか」

1981年東京大学理学部卒業。1986年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。電子技術総合研究所を経て、2000年公立はこだて未来大学システム情報科学部教授。2016年より現職。

◎**午餐会** (12:30～食事/13:20～講演/14:20～質疑応答)

1月20日(金) 里見 進氏 (東北大学総長)

「国立大学の今とこれから」

1974年東北大学医学部卒業。東北大学医学部助手、講師を経て、1995年東北大学医学部教授。2004年東北大学病院長。2005年東北大学副学長、2012年より現職。

2月20日(月) 白川 方明氏 (青山学院大学特任教授/前日本銀行総裁)

「中央銀行という存在」

1972年東京大学経済学部卒業後、日本銀行入行。2006年京都大学公共政策大学院教授。2008年日本銀行総裁。2013年より現職。

※取材・報道目的でのご参加はお断りいたします。予めご了承ください。

3月21日(火) 井上 章一氏 (国際日本文化研究センター教授)

「ゆがめられた関西像」

1978年京都大学工学部卒業。1980年京都大学大学院工学研究科修士課程修了。京都大学人文科学研究所助手、国際日本文化研究センター助教授を経て、2002年国際日本文化研究センター教授。2013年副所長・教授。2016年より現職。

詳細は、学士会公式サイトまたは事業課まで。

TEL: 03-3292-5955 (平日9:00～17:00) MAIL: koenkai-info@gakushikai.or.jp

告知



『學士會會報』922号(2017年1月発行)のご案内

2017年1月1日発行の『學士會會報』922号は、下記の内容を掲載しています。
※編集の都合により、内容が変更になる場合があります。

■講演録■

「微生物創薬と国際貢献」(9月夕食会) 大村智氏(北里大学特別栄誉教授)

■連載■

「七帝大物語 最終回」 天野 郁夫氏(東京大学名誉教授)

「遺跡を尋ねて」 <総論> 藤尾 慎一郎氏(国立歴史民俗博物館副館長)
<第1回> 山田 康弘氏(国立歴史民俗博物館教授)

告知

学士会主催



平成29年新春講演会

19:00～講演会

[場所] 学士会館

20:15～懇親会(立食)

[参加費] 4,000円(講演のみ2,000円)

2017年1月9日(月・祝) 矢野 安重氏(理化学研究所仁科加速器研究センター特別顧問)

「いかにして森田浩介らは新元素ニホニウムを発見したか」

1974年東京大学理学部卒業。2006年理化学研究所仁科加速器研究センター初代センター長。2009年より現職。理化学研究所入所以来、一貫して、重イオン加速器と大型実験装置の開発、建設に従事。世界に冠絶するRIビーム発生能力をもつ理研RIビームファクトリーを提唱、建設を主導。



※都合により、講師・演題が変更になりました。

詳細は、学士会公式サイトまたは事業課まで。

TEL: 03-3292-5955(平日9:00～17:00)

MAIL: jigyou@gakushikai.or.jp

告知

学士会主催 東北大学・東北大学校友会共催



東北講演会

14:00～講演会

[場所] 東北大学 片平さくらホール

15:40～夕食会

[参加費] 無料(懇親会まで3,000円)

2017年2月4日(土) 山折 哲雄氏(宗教学者・国際日本文化センター名誉教授)

「我が死生観」

1954年東北大学文学部卒業。駒澤大学文学部助教授、東北大学文学部助教授、国立歴史民俗博物館教授を経て、1988年国際日本文化研究センター教授。1997年名誉教授。2001年所長。2005年に退任し、現在に至る。



詳細は、学士会公式サイトまたは事業課まで。

TEL: 03-3292-5955(平日9:00～17:00)

MAIL: area@gakushikai.or.jp

告知 学士会主催



「夜の水族館貸切パーティー」

[場 所] サンシャイン水族館

[参加費] 会員 12,000 円 同伴 14,000 円

2017年2月12日(日) 19:00～21:00

営業終了後の水族館を丸ごと借り切り、45歳以下の独身会員同士でパーティーを開催いたします。海の仲間たちが演出する特別な空間で、新たな出会いをお楽しみください。

お食事(立食形式)・フリードリンク付きです。

詳細は、学士会公式サイトまたは事業課まで。

TEL: 03-3292-5955 (平日9:00～17:00)

MAIL: jigyou@gakushikai.or.jp

告知 学士会主催



第27回関西茶話会

14:30～講演

15:30～懇親会(立食)

[場 所] 中央電気倶楽部

[参加費] 3,000 円

2017年2月18日(土) 中村 哲氏 (奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科教授)

「言語の壁を越える音声言語コミュニケーション研究の現状と今後」

1981年京都工芸繊維大学卒業。1992年京都大学博士(工学)。けいはんな研究所音声言語グループリーダー、上席研究員、MASTAR プロジェクトリーダー、知識創成コミュニケーション研究センター長、けいはんな研究所長などを経て、現職。総務大臣表彰、文部科学大臣表彰、ELRA Antonio Zampolli 賞など受賞多数。



詳細は、学士会公式サイトまたは関西事務所まで。

TEL: 075-771-1191 (土日祝月除く 10:00～16:00)

MAIL: kansai-info@gakushikai.or.jp

告知 学士会主催



第12回女性会

10:00～レッスン

11:50～ランチ

[場 所] 学士会館

[参加費] 5,000 円

2017年2月25日(土)

「顔ヨガで表情筋を鍛えて、小顔・若顔・元気顔! (仮)」

顔の表情筋を鍛えてストレッチをする「顔ヨガ」をご存知ですか?

表情筋を動かし、顔全体の血行やリンパの流れを良くすることで、驚くほどに顔色や顔の形、表情に至るまで変化します。また、顔の筋肉を柔らかくすると脳の神経細胞も活性化されるそうです。

表情筋を隅々まで動かして、“健康美人”を目指しましょう。

詳細は、学士会公式サイトまたは広報渉外課まで。

TEL: 03-3292-5950 (平日9:00～17:00)

MAIL: woman@gakushikai.or.jp

告知 学士会・九州学士会主催



九州講演会

14:00～講演会

[場 所]九州大学 西新プラザ

15:40～懇親会(立食)

[参加費]無料(懇親会まで3,000円)

2017年3月18日(土)

森田 浩介氏(九州大学大学院理学研究院教授)

「113番新元素『ニホニウム』発見」

1979年九州大学理学部卒業。1993年理化学研究所サイクロトロン研究室先任研究員。2004年自身の研究チームが113番元素を発見。2013年九州大学大学院理学研究院教授。理化学研究所仁科加速器研究センター超重元素研究グループグループディレクター。



2月1日(水)より申込受付を開始します。

詳細は、学士会公式サイトまたは事業課まで。

TEL: 03-3292-5955 (平日9:00～17:00)

MAIL: area@gakushikai.or.jp

告知 学士会主催



土曜(日曜)カフェ

15:00～

[場 所]学士会館

[参加費]1,000円

2017年1月28日(土) / 2月26日(日) / 3月25日(土)

毎月最終土曜日(日曜日)に39歳までの会員を対象に、少人数での“カタリバ”土曜(日曜)カフェを開催中です。読書会も行っています。

詳細は、学士会公式サイトまたは会員支援課まで。

話し合いたいテーマも大募集中!

TEL: 03-3292-5932 (平日9:00～17:00)

MAIL: contact@gakushikai.or.jp



報告 学士会共催

「国立西洋美術館 建築見学会」開催報告

[場 所]国立西洋美術館

2016年10月26日(土) 10:30～13:00

昨年、世界文化遺産に登録された「国立西洋美術館」にて、建築に特化した見学会を開催、世界文化遺産登録に関する作業に関わっていた専門職員の方の解説のもとル・コルビュジエの工夫が詰まった美術館内を巡りました。見学会後は、日本初開催のルカス・クラナハの展覧会を見学しました。





学生会主催・学生会探秀会共催

「カトリック神田教会 建物見学会 &文化財と古楽コンサート」開催報告

[場 所]
カトリック神田教会

2016年11月17日(木) 18:10～20:30

学生会主催・学生会探秀会共催の「カトリック神田教会 建物見学会」は、探秀会顧問でもあるNPO法人歴史的建造物とまちづくりの会代表の三船康道氏の解説で、教会内部を巡りました。聖堂2階から見るヴォールト天井の身廊と列柱からなる側廊の美しさ、また見学会終了後に鑑賞したICU OGC合唱団によるミサ曲と黒人霊歌の演奏に、参加者は感嘆の声を上げていました。



三船康道氏
(左写真)



学生会主催

「第11回女性会」開催報告

[場 所] 千代田区・富士見出張所区民館

2016年11月26日(土) 10:30～15:00

「自家製酵母」でつくる！クリスマス・シュトーレン&ベーグル

学生会女性会員を対象に、ドイツのクリスマス伝統菓子「シュトーレン」と女性に大人気のパン「ベーグル」を作成するパン教室を開催しました。

約3時間かけて焼き上げた「シュトーレン」と「ベーグル」の美味しさはひとしおでした。



教室の様子



ベーグル



シュトーレン



学生会・学生会館共催

「親から始める子どものための良縁講座」

第4弾開催報告

[場 所]
学生会館

2016年11月27日(日) 14:00～17:00

結婚を希望するお子様をお持ちの親御様同士が交流する良縁講座4弾を開催しました。

第1部では、婚活支援サービス会社で今まで数多くの成婚に携わってきた新城紀子氏から「婚活中の子どもの親としての心構え」を学び、続く第2部では、異性のお子様を持つ親御様同士の「5分間お見合い」を行いました。



5分間お見合い



報告 学士会主催

「コーヒー教室」開催報告

[場 所] 小川珈琲 本社 2 階

2016 年 12 月 3 日 (土) 13:30 ~ 15:30

関西地区在住の会員を対象に行われた「コーヒー教室」は、男女ほぼ同数の計 23 名の参加がありました。

当日は、コーヒーの正しいドリップの仕方や豆の保存方法などを教わりました。



東京大学基金への寄付が 1,000 万円を超えました

学士会は、七大戦（全国七大学総合体育大会）に特別協賛をし、毎年主管校へ 700 万円の寄付を行っています。この度、前大会主管校の東京大学への寄付が累計で 1,000 万円を超えたことを記念し、東京大学基金より記念プレートを頂戴し、安田講堂の銘板も新しくなりました。



東大渉外本部・石岡氏（左）と
と学生会事務局長・渡辺（右）

告知 学生会館主催



「和食」と日本酒の調和を楽しむ利き酒会を開催

2017 年 1 月 24 日 (火) 18:30 ~ (受付開始 18:00)

「世界遺産「和食」と日本酒のペアリングを楽しむ会 宮城編 (仮)」

【料金】学生会会員 8,000 円 / 一般 10,000 円 ※会員同伴は会員価格

【場所】学生会館 1 階 「旬菜寿司割烹 二色」 【定員】20 名

申込・詳細は、「旬菜寿司割烹 二色」まで。

TEL: 03-3292-3960

URL: <http://www.gakushikaikan.co.jp/>



報告 学生会館主催 開館 88 周年記念イベント

「思い出の写真展」開催報告

[場 所] 学生会館 1 階廊下

2016 年 12 月 1 日 (木) ~ 12 月 25 日 (日)

開館 88 周年記念の最後を飾る特別イベント「思い出の写真展」では、1 階廊下に過去の会館写真や、会員から募集した結婚写真、設計図（現物）を展示しました。今とほぼ変わらない昔の会館の姿や設計図の緻密さに、来館者は立ち止まり真剣に見入っていました。





七大学書籍ランキング BEST 5

期間：2016年11月1日～2016年11月30日

北海道大学生協 書籍部 Clark

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 乱読のセレンディビティ	外山滋比古	扶桑社
	2 欧州複合危機	遠藤乾	中央公論新社
	3 経済学のすすめ	佐和隆光	岩波書店
	4 夏目漱石	十川信介	岩波書店
	5 地球の歴史 下	鎌田浩毅	中央公論新社
一般書	1 ハリー・ポッターと呪いの子 第一部・第二部	J. K. ローリング	静山社
	2 あたらしい憲法草案のはなし	自民党の憲法改正草案を爆発的にひろめる有志連合	太郎次郎社
	3 コンビニ人間	村田沙耶香	文藝春秋
	4 最後の秘境 東京藝大一天才たちのカオスな日常一	二宮敦人	新潮社
	5 夜行	森見登美彦	小学館

東北大学生協 書籍部 文系店

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 何者	朝井リョウ	新潮社
	2 応仁の乱	呉座勇一	中央公論新社
	3 凶器は壊れた黒の叫び	河野裕	新潮社
	4 欧州複合危機	遠藤乾	中央公論新社
	5 ぼくは明日、昨日のきみとデートする	七月隆文	宝島社
一般書	1 ハリー・ポッターと呪いの子 第一部・第二部	J. K. ローリング	静山社
	2 夜行	森見登美彦	小学館
	3 図解 ワイン一年生	小久保尊	サンクチュアリ
	4 現代思想第44巻第21号 特集：大学のリアル	青土社（編）	青土社
	5 TOEIC® テスト公式問題集	Educational Testing Service	国際ビジネスコミュニケーション協会

東京大学生協 本郷書籍部

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 経済数学の直観的方法 確率・統計編	長沼伸一郎	講談社
	2 思考の整理学	外山滋比古	筑摩書房
	3 つながる脳科学	理化学研究所脳科学総合研究センター（編）	講談社
	4 応仁の乱	呉座勇一	中央公論新社
	5 女のいない男たち	村上春樹	文藝春秋
一般書	1 ハリー・ポッターと呪いの子 第一部・第二部	J. K. ローリング	静山社
	2 ゼロから作る Deep Learning	斎藤康毅	オライリー・ジャパン
	3 科学論文の英語用法百科 第2編 冠詞用法	グレン・バケット	京都大学学術出版会
	4 最後の秘境 東京藝大一天才たちのカオスな日常一	二宮敦人	新潮社
	5 「会社四季報」業界地図 2017年版	東洋経済新報社（編）	東洋経済新報社

名古屋大学生協 書籍部 BOOKS フロンテ

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 研究するって面白い!	伊藤由佳理	岩波書店
	2 珈琲店タレーランの事件簿 5	岡崎琢磨	宝島社
	3 凶器は壊れた黒の叫び	河野裕	新潮社
	4 何者	朝井リョウ	新潮社
	5 研究不正	黒木登志夫	中央公論新社
一般書	1 ハリー・ポッターと呪いの子 第一部・第二部	J. K. ローリング	静山社
	2 公式 TOEIC® Listening & Reading 問題集 1	Educational Testing Service	国際ビジネスコミュニケーション協会
	3 スパラク実力がつくと評判の線形代数キャンパス・ゼミ	馬場敬之	マセマ
	4 科学論文の英語用法百科 第2編 冠詞用法	グレン・バケット	京都大学学術出版会
	5 元素手帳 2017	化学同人編集部 (編)	化学同人

京都大学生協 BOOK センタールネ

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 珈琲店タレーランの事件簿 5	岡崎琢磨	宝島社
	2 女のいない男たち	村上春樹	文藝春秋
	3 応仁の乱	呉座勇一	中央公論新社
	4 凶器は壊れた黒の叫び	河野裕	新潮社
	5 何者	朝井リョウ	新潮社
一般書	1 ハリー・ポッターと呪いの子 第一部・第二部	J. K. ローリング	静山社
	2 夜行	森見登美彦	小学館
	3 科学論文の英語用法百科 第2編 冠詞用法	グレン・バケット	京都大学学術出版会
	4 数学ガールの秘密ノート やさしい統計	結城浩	SBクリエイティブ
	5 TOEIC® テスト公式問題集	Educational Testing Service	国際ビジネスコミュニケーション協会

大阪大学生協 書籍部 豊中店

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 経済数学の直観的方法 確率・統計編	長沼伸一郎	講談社
	2 欧州複合危機	遠藤幹	中央公論新社
	3 珈琲店タレーランの事件簿 5	岡崎琢磨	宝島社
	4 凶器は壊れた黒の叫び	河野裕	新潮社
	5 応仁の乱	呉座勇一	中央公論新社
一般書	1 ハリー・ポッターと呪いの子 第一部・第二部	J. K. ローリング	静山社
	2 夜行	森見登美彦	小学館
	3 数学ガールの秘密ノート やさしい統計	結城浩	SBクリエイティブ
	4 日本近代の歴史3 日清・日露戦争と帝国日本	飯塚一幸	吉川弘文館
	5 いまさら翼といわれても	米澤穂信	KADOKAWA

九州大学生協 文系購買書店

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 失敗の本質	戸部良一/寺本義也/鎌田伸一/杉之尾孝生/村井友秀/野中郁次郎	中央公論新社
	2 図説 科学史入門	橋本毅彦	筑摩書房
	3 経済数学の直観的方法 確率・統計編	長沼伸一郎	講談社
	4 密着 最高裁のしごと	川名社志	岩波書店
	5 経済学のすすめ	佐和隆光	岩波書店
一般書	1 ハリー・ポッターと呪いの子 第一部・第二部	J. K. ローリング	静山社
	2 歴史手帳 2017 年版	吉川弘文館 (編)	吉川弘文館
	3 事例研究 行政法 第3版	曾和俊文・野呂充・北村和生 (編著)	日本評論社
	4 労働法 第3版	荒木尚志	有斐閣
	5 これが本当のSPI3だ! 2018年度版	SPIノートの会 (編著) 津田秀樹 (編著)	洋泉社

また新しい年が始まった。自分について言うと、50歳を過ぎたあたりから妙に時間の経つのが速くなったような気がする。「月日の経つのが速い どうして？」で検索すると、いろいろ出てくる。「生涯のある時期における時間の心理的長さは年齢を重ねるごとに長くなる」（5歳の人の1日は50歳の人の10日間に相当するということ）、「世の中がなじみ深いものになってくると、脳に刻まれる情報の量が減り、結果として時間がより速く過ぎ去るように思える」、「動物は心拍数や体重によって感じる時間の長さが異なる」等々。我が身を顧みると、昨年は思い立って数十年ぶりに試験を受けるために勉強をした。脳に刻まれた情報量は多かったはずなのに、やっぱり1年は速かった。よくよく読んでみると、脳に刻む情報は「新しい発見」でなくてはいけないらしい。今年は積極的に新しいことに挑戦して長い1年にしたい。（編集委員：佐藤千恵子）

学士会会員最大のメリットは『學士會會報』を読めるということだろう。各分野第一線の専門家による文章は、どれも毎回感銘を受ける。例えば917号の香取秀俊氏「前人未踏の時間を使いこなす」は会報が送られてくるなり一気に読んだ。20世紀の半ばまで時間は、地球の自転をもとに定義されてきたが、潮汐摩擦によりわずかに遅くなる自転速度があてにならなくなり、セシウム原子時計が、さらにストロンチウム原子時計が光格子時計として開発された。科学と技術の協奏の成果を筆者は鮮やかに書いている。どのページをめくっても、文学や経済学に至るまで幅広く、高度で深い専門家による興味深い文章が掲載されている。また学士会館で開催される「夕食会」「午餐会」での講演を聞き逃した場合でも、後日、会報に掲載されるのでじっくり読める。同号掲載の田尻久雄氏「これからの内視鏡医療」（2015年10月午餐会講演録）にも感銘を受けた。是非七大卒業生・関係者の皆さんに『學士會會報』を読んでいただきたい。

（編集委員：田村恵美子）

新年明けましておめでとうございます。先日 Google の翻訳 API がかなりの精度を叩き出すようになったと言うことで、私の編集委員コラム（11月号）の冒頭部分を英訳してみました。

“Recently I got the opportunity to participate in a research group where people from the information processing center of the National University gather. It was very meaningful for me to exchange opinions in various presentations and social gatherings etc. in 2 days.”

いかがでしょうか？ 興味のある方は11月号を見ていただき、英訳してみてください。十分に使えるレベルになってるのではないのでしょうか。

現在 Google は音声の認識についても機械学習で相当な精度のものを出してくるし、更に改善を続けています。2020年に向けに機械学習（音声のテキスト化+翻訳等）によるサービスが立ち出てくることでしょう。（編集委員：吉積礼敏）

NU7 第9号

2017年 1月1日 発行

編集兼
発行人

大垣 眞一郎

発行元

一般社団法人学士会

〒101-8459 東京都千代田区神田錦町 3-28

TEL：03-3292-5950

FAX：03-3292-2779

homepage：http://www.gakushikai.or.jp/

e-mail：koho@gakushikai.or.jp

印刷所

大日本法令印刷

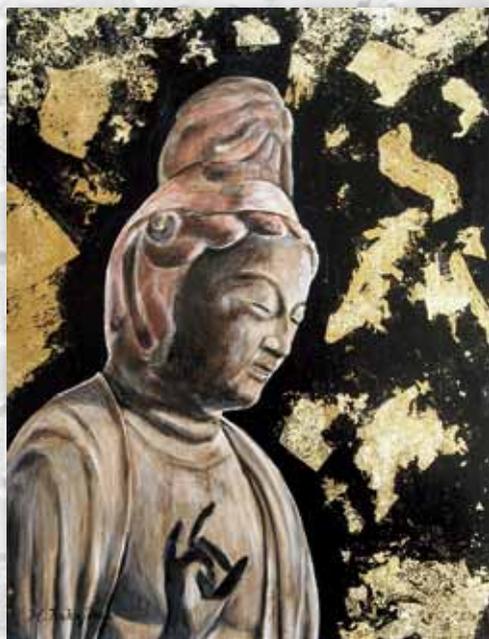
7 MEMBERs

会員通信

会員ギャラリー



「婆娑羅大将」 テンペラ画



「伎芸天」 テンペラ画



「阿修羅像」 テンペラ画

(中島裕司 会員 阪大・文・昭51)

学士会の活動・サービス一覧

七大学への支援・連携

- ・「全国七大学総合体育大会（七大戰）」への特別協賛（協賛金、優勝トロフィー）
- ・七大学との情報交換、メールマガジンの相互乗り入れ
- ・七大学とのイベント共催 ・ホームカミングデーへ参加 ・七大学支部連絡室の提供

七大学関連団体との連携

- ・お互いの主催イベントへの相互協力
- ・七大学の同窓会との情報交換、メールマガジンの相互乗り入れ
- ・七大学OB合同イベントへの協力（「七大学OB野球大会」への支援など）
- ・学生会館における全学同窓会合への支援や、若手同窓団体講演会への共催や支援

会員活動に対する支援

- ・同好会活動への支援（撞球、囲碁、将棋、俳句、漢詩、短歌、落語）
- ・学生会館の会員倶楽部室（撞球、囲碁、将棋、会員会議室）の利用
- ・学生会館の談話室、読書室の利用（いずれも Wi-Fi 利用可）

会員向け活動・サービス

- ・『學士會会報』『NU7』『会員氏名録』の発行
- ・「夕食会」「午餐会」「若手交流会」「関西茶話会」「新春講演会」「地域講演会」などの講演会開催、「新年祝賀会」「クリスマス家族会」などのイベント開催
- ・メールマガジンの配信（登録者向けに毎月1日発行/読者プレゼントあり）
- ・学生会館会員専用サイト「交流サロン・謝恩の情」の利用（NU7+・同好会だよりの閲覧）
- ・鑑賞ツアー（観劇、コンサートなどの割引チケット提供およびプログラム提供などの特典）
- ・引越越しや葬祭時の割引特典（クロネコヤマト・アート引越センター/セレモア）
- ・スポーツクラブの割引利用（ルネサンス・ドゥミルネサンス）
- ・住宅に関する総合案内「住まいサポート」（パナホーム・住友林業）
- ・（終身会員のみ）夕食会・午餐会参加時のソフトドリンク1杯無料サービス
- ・事典・辞書のデータベース「ジャパンナレッジ」の割引利用
- ・東京国立近代美術館の割引利用
- ・「しがくのやど」（日本私立学校振興・共催事業団運営の会館・宿泊施設）の割引利用
- ・生涯メールアドレスの提供（希望者のみ）
- ・会員作品（書籍・絵画等）の展示（学生会館）

学生会館事業

- ・婚礼プラン利用の際、お祝い金（5万円）贈呈
- ・宿泊および集宴会を会員価格にて利用（終身会員は会員価格から10%割引）
- ・慶祝プラン（金の食器使用）利用の会員グループに食事券（5,000円）贈呈
- ・レストランでのランチ（平日13時以降来店に限る・セブンスハウス除く）・ディナー飲食料、同伴者を含め10名迄10%割引（終身会員本人は、ランチ全時間帯10%割引）※入店時に会員証を提示
- ・レストランの個室料無料※入店時に会員証を提示

当館の古屋聖良さんが、 日本代表として大活躍！

S.PELL
YOUNG C

2016年10月13日(木)～15日(土)まで、イタリア・ミラノで
開催された若手料理人世界一を決定する国際コンクール
「サンペレグリーノ ヤングシェフ2016」において、
日本代表に選出された古屋聖良さんが大奮闘しました。



大会2日目の各地区の出場者(古屋さんは左から3人目)

世界20地区・90ヶ国以上から選ばれた精鋭を相手に、全力で出品料理を仕上げました。



料理の説明をする古屋さん



学士会館の古屋です。皆様のあたたか
なご声援を頂き、誠にありがとうございます。
これから頑張ってくださいますので、よろしく
お願いいたします。



世界大会用に、新しくアレンジされた出品料理「日本の四季」

学士会館レストランにおける学協会会員特典が拡充されています。

【レストラン ラタン・中国料理 紅樓夢・旬菜寿司割烹 二色 (セブンズハウスは除く)】
2016年9月1日(木)より、下記の割引特典が開始され、ご好評いただいています。
◎13時以降のランチタイムは、学協会会員証を来店時にご提示いただくと10%割引となります。

※平日のみ・カード可・1グループ
あたり同伴者を含め10名まで。
※終身会員はランチ全時間帯 10%
割引です。

あなたの思い出の中に…
金のカトラリーセット

好評販売中

学士会館が大切に守り、保有してきた金のカトラリーを、
今回新たに学協会館のロゴを刻印してお手元にお届けいたします。
◇88周年特別価格 88,000円(税込・送料無料)
◇公式ホームページオンラインショップよりご購入ください。
<http://gakushikaikan.co.jp/ec/>
◇お問合せ：03-3292-5936



学士会の紹介

学士会は、国立七大学（北大・東北大・東大・名大・京大・阪大・九大）の卒業生・学生・教員約5万人からなる総合同窓団体です。

学士会の発端は、明治19（1886）年に開かれた東大初代総理・加藤弘之先生の謝恩会。今年、130周年を迎えた学士会は現在、七大学特別協賛をはじめとした七大学への支援や、七大学同窓団体との連携、会員向けに様々なサービスを展開しています。



会員資格

七大学の卒業生（学士・修士・博士）

七大学の教職員（教授・准教授・助教など）

七大学の学生

※詳細は、学士会公式サイト「情報公開」の定款をご覧ください。

※学生は、学生会員への登録になります。登録料は無料です。

会費

入会金なし、年会費 4,000 円

※学部卒業後2年間は3,000円（学士会事業年度は4月1日～翌3月31日）。

※会費一括納入の終身会員制度もございます。お問い合わせください。

秋学期卒業お祝いキャンペーンは2月末迄！
今秋七大学卒業・修了の方をご紹介します。



主な会員サービス

最新情報をお届けする学士会メールマガジンは、どなたでもご覧いただけます。公式サイトよりご登録ください。



『學士會會報』の発行

明治20（1887）年より今まで続いている『學士會會報』は、年6回奇数月に発行、ご指定の住所にお届けしています。

922号（2017年1月発行）は、大村智氏（2016年9月夕食会講師）の講演録を掲載しています。



企業と連携したサービス

オペラや観劇などのチケット割引サービス「鑑賞ツアー」（オプション付き）や、スポーツクラブなどの割引サービス等を行っています。

「しがくのやど」（宿泊・保養所）の割引利用や、インターネット辞書検索サイト「ジャパンレッジ」の割引利用も大人気です！



講演会やイベントの開催

「夕食会」「午餐会」「関西茶話会」「地域講演会」「若手交流会」「女性会」など地域・年齢を考慮した講演会・イベントを開催しています。

1月午餐会に、東北大学総長の里見進氏が登壇！演題等詳細は、34頁をご覧ください。



1月午餐会講師
里見 進氏



「学士会館」の運営



集宴会や婚礼、宿泊には会員優待のある「学士会館」（東京都千代田区）をご利用ください。

<大人気！学士会会員会館レストランサービス>
会館レストランでのランチ（平日13時以降入店に限る・セブンスハウス除く）とディナー飲食料が10%割引！

入会をご希望の方は、学士会公式サイトからお手続きください。

<http://www.gakushikai.or.jp/>

一般社団法人 学士会



入会に関するお問い合わせは会員企画課まで/03-3292-5933（平日9時～17時）

